

第122回実践勉強会 実施レポート

共催 大田区薬剤師会・持田製薬株式会社

参加者 101 名

開催日時：2020年12月15日（火）19:45～21:15

「骨粗鬆の病態と治療について」

昭和大学医学部整形外科学講座

准教授 永井 隆士 先生

質問

Q1 骨粗鬆症患者にて薬局で注意することはあるか

A 口腔メンテナンスをしっかりとしているかどうか。
特にビスホスホネート製剤やプラリアが長い人はより注意が必要。

Q2 プラリアには手帳がありシールも配布されている

外来にてそういったものを活用して頂くことで調剤薬局でも管理ができるようになり安心である。
骨粗鬆症の治療については2年ごとに見直すことが必要であると以前勉強したが実際にはどうか。

A ビスホスホネート製剤は見なおしを行う。
プラリアは長期でのエビデンスがある。
ビスホスホネート製剤は3年～5年にて効果が頭打ちとなる。